

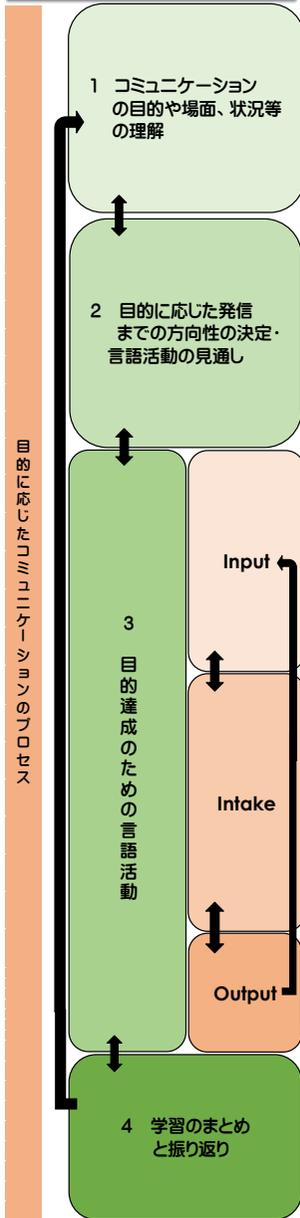
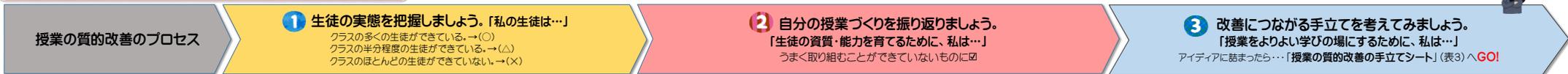


授業の質的改善!

授業振り返りシート

〈生徒の実態から見える私の授業づくり〉

- 英語のコミュニケーションに必要な「資質・能力」を育てる学習過程において、育成につながる手立てを取っているのかが振り返ってみましょう。
- 生徒の「資質・能力」を育てるために、よりよい授業づくりを目指し、授業改善の手立てを考えてみましょう。



1 コミュニケーションの目的や場面、状況等の理解

- () 単元ゴールの活動の目的や場面、状況等を理解している。
例) 「ホームステイ先の家族に写真や物を見せながら、自分のことや、日本での生活などについて紹介する」
「日本を初めて訪れ、〇〇校にALTとしてやって来る△△先生に歓迎の気持ち伝えるためにどんなことができるのか話し合う」
「ロボットと人間の共存について書かれた記事を読み、自分の考えをまとめて発表する」 など
- () 単元ゴールの活動において、英語を使って何をするのか具体的に理解している。
例) 「ALTの意見を聞く」「メールを読む」「ALTとやり取りする」
「メモを見ながら発表する」「8文程度のエッセイを書く」 など
- () 単元ゴールの活動に興味・関心を持っている。

2 目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動の見直し

- () 単元ゴールの達成に向けた言語活動について見直しを持っている。
例) 「過去の出来事伝えるために必要な表現や文法を学ぶ」
「帯学習でやり取りに慣れるための言語活動を行う」
「3時目、6時間目にやり取りの練習の様子を録音、発音や表現の正しさ、またアイコンタクトや声の大きさなどについてペアでチェックする」 など
- () 単元ゴールの達成に必要な力について、自分ができることや知っていること、また、これから身に付けなければならないことを把握している。
例) 「発音には自信がある」「明日の予定の言い方は知っている」
「原稿を見ないで言うのは難しそう」 など
- () 単元ゴールの達成に向けた言語活動を通して、何がどれくらいできるようになりましたか、など目標を持っている。

3 目的達成のための言語活動

- () 実際のコミュニケーションの場をイメージし、語彙・表現や文法などの言語知識などの習得に意欲的に取り組んでいる。
- () 各活動の目的を理解し、何がどのくらいできるようになりたいか目標を持って組んでいる。
- () 様々な英語を聞いたり読んだりして、多量の英語をインプットしている。
- () ペアやグループで協力して学習している。
- () 語彙や表現の習得に向けて、進んで辞書やインターネット等を活用している。
- () これまでに習得した知識や技能を、コミュニケーションの場面で聞いたり読んだりして理解することや、話したり書いたりして表現することに活用し、学習課題を解決しようとしている。
- () 語彙・表現や文法を五つの領域において繰り返し活用して定着を図っている。
- () 学習したことを基に、自分で調べたり再考したりして学習課題を解決しようとしている。
- () クラスメイトと協力して課題を解決しようとしている。
- () 言語活動の途中や最後に自分の発信や作品を振り返り、再考したり修正したりして、よりよいものになろうとしている。
- () 自分がどれくらい知識や技能などを身に付けているのかが自覚している。

4 学習のまとめと振り返り

- () これまでに習得した知識や技能を、積極的に使って言語活動を行っている。
- () 目的や場面、状況等に応じて、適切な言語を活用したり、構成を工夫したりしている。
- () 学習過程を具体的に振り返り、何が分かったかについてや、何ができて何ができなかったかについて理解している。
- () 学習した内容を人に説明することができる。
- () 学習した内容を活用して、理解したり発信したりしながら、何を、どれくらい習得できているのかを確認できている。
- () 次の学習への意欲を持っている。

1

- ☐ ア 単元ゴールの活動におけるコミュニケーションの目的や場面、状況等を生徒に明確に示し、学習の見通しを持たせられるよう、具体的に学習指導計画を立てている。
- ☐ イ 単元のスタートに、単元ゴールの活動の目的や場面、状況等について具体的に生徒に示している。
- ☐ ウ 単元ゴールの活動において、英語で何をするのか具体的に生徒に理解させている。
- ☐ エ 単元ゴールの活動に興味・関心を持たせるための工夫をしている。

2

- ☐ ア 単元ゴールの達成に向けて、どのような学習を行うか生徒に示している。
- ☐ イ 単元を通して、何が分かり、何ができるようにするのか生徒に示している。
- ☐ ウ 単元ゴールの活動でどのようなパフォーマンスを行いたいのか、生徒に目標を立てさせている。
- ☐ エ 生徒が現在の自分の力を把握し、単元ゴールの達成に向けて、どのような学習が必要か考えることができるような機会を設けている。
- ☐ オ これら行う学習に興味・関心を持たせたり、英語力の向上に意欲を持たせるための工夫をしている。

3

- ☐ ア 実際のコミュニケーションにおける運用をイメージしたインプットができるようにしている。
- ☐ イ 各活動の目的を具体的に生徒に示し、学習到達目標を持って活動に取り組ませる。
- ☐ ウ 生徒の実態(語彙レベル、学習スタイル、学習環境、興味・関心など)に応じた様々な言語活動を通して、楽しみながら、たくさんのインプットが行われるように工夫している。
- ☐ エ 生徒にとって質の良いインプットが繰り返し行われるよう、Teacher Talkや教材で用いる英語のレベルや量、話の内容などは、生徒の実態に応じたものになるよう掛けている。
- ☐ オ 生徒が自分で調べたり、人と協力して学習したりすることができるような時間を設けたり、環境を整えたりしている。

4

- ☐ ア これまでに身に付けた知識や技能を活用して解決する必然性がある学習課題を設定している。
- ☐ イ 技能統合型の言語活動を設定し、五つの領域にわたってコミュニケーションを図る資質・能力をバランスよく育成できるよう工夫している。
- ☐ ウ 生徒の実態に応じた言語活動を設定している(場面設定、語彙レベル、言語使用量など)。
- ☐ エ 学習した内容を、異なる場面設定の中で、繰り返し学ぶことができるような活動を設けている。
- ☐ オ クラスメイトと協力して学習課題を解決したり、互いに学び合ったりする活動を設けている。
- ☐ カ 教師やクラスメイトからのフィードバックを生かして、自分の考えを整理したり修正したりできる場を設けている。
- ☐ キ 生徒が自分の学習到達状況を具体的に自覚できるよう工夫している。

5

- ☐ ア 相手や場面に応じたコミュニケーションを行うように、意識付けを行っている。
- ☐ イ 互いに学び合う機会を設けている。
- ☐ ウ 生徒が自分の学習到達状況や変容を自覚できるよう工夫している。

6

- ☐ ア 学習活動の内容や個人の成長を振り返る機会を設けている。
- ☐ イ 学んだことを活用して、理解させたり発信させたりして、学習内容や学習到達状況を確認する時間を設けている。
- ☐ ウ 次の学習への意欲を喚起する手立てを取っている。

「授業の質的改善の手立てシート」
どんな手立てが考えられるかな…?

ア→主-D
イ→主-D・E
ウ→主-E
エ→主-A・B・C・D・F・G、
オ→主-A、深-A

ア→主-H
イ→主-I
ウ→主-I・J、深-C
エ→主-I・K、オ→主-B、深-B・C
オ→主-A・B・C・H・I・J・K、
オ→主-B、深-B・C

ア→主-A・C・L・M、オ→主-K
イ→主-R・V
ウ→主-A・B・M・S・U、オ→主-D・J、深-D・G
エ→主-A・B・S・U、オ→主-C、深-D・G
オ→主-T、オ→主-D・J・K・L、深-D・G

ア→主-A・B・C・N・O・S、オ→主-E、
深-E・G
イ→主-A・B・C・N・O・S、深-E・G
ウ→主-A・B・N・O・S・U、
オ→主-E、深-E・G
エ→主-A・N・O・T、オ→主-K、深-E・G
オ→主-B・N・O・W、オ→主-E・F・G・J・K・L、
深-E・G
カ→主-P・W、オ→主-F・G・L、深-F
キ→主-P・V・W、オ→主-F・G、深-F・H

ア→主-B・C・Q・V、オ→主-E・H、
深-H
イ→主-B、オ→主-I・L、深-F
ウ→主-C・Q・V、オ→主-I、深-F・H

ア→主-X、オ→主-M・N・P、深-J
イ→主-C・Y、オ→主-O、深-I
ウ→主-X、オ→主-M・N・P、深-J